

令和6年度八潮市一般会計補正予算（第9号）等の概要について

補正予算編成の基本方針

本補正予算の編成に当たっては、予算執行期間も限られることから、既に事業の終了等により不用額が見込めるものについて減額補正を行うものとし、真に緊急性、必要性が高いものに限って増額補正を行うものとした。

一般会計の補正予算の主な内容

補正前予算額	42,227,608千円
今回補正額	△275,342千円
補正後予算額	41,952,266千円

1 歳入（主なもの）

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 固定資産税の軽減措置に伴い、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金を補正する。 | 20,260千円 |
| (2) 公定価格の改定等に伴い、交付金等を補正する。
・子どものための教育・保育給付交付金（国）
・子どものための教育・保育給付費負担金（県） | 111,565千円
79,932千円
31,633千円 |
| (3) 物価高騰対応重点支援給付金（追加分）の給付に伴い、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を補正する。 | 214,000千円 |
| (4) 財政調整基金繰入金を補正する。 | △388,893千円 |

2 歳出（主なもの）

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 物価高騰対応重点支援給付金（追加分）の給付に係る経費を補正する。 | 228,158千円 |
| (2) 事業費の確定に伴い、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る返還金を予算化する。
・新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金返還金
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金返還金 | 70,837千円
27,592千円
43,245千円 |
| (3) 国の補正予算を活用した事業の前倒しに伴い、公園等整備事業に係る経費を予算化する。
・上二西児童公園整備実施設計業務委託料
・古新田第7公園整備実施設計業務委託料 | 20,200千円
9,000千円
11,200千円 |

(4) 学校給食の加工費の高騰に伴い食糧費を補正する。また、食材価格の高騰に伴い補助金を予算化する。	19,306千円
・食糧費	5,047千円
・学校給食費食材価格高騰対策補助金	14,259千円

3 継続費

令和6年度に設定した継続費5件について変更する。

- ・鶴ヶ首根体育館増築工事費 他4件

4 繰越明許費

令和6年度に設定した繰越明許費1件について変更する。また、令和6年度末までの完了が難しい事業について繰越明許費を追加する（全18件）。

（変更）・物価高騰対応重点支援給付金（追加分）給付事業

（追加）・旧中央職員住宅等解体工事地盤変動影響事後調査業務委託料 外17件

5 債務負担行為

令和6年度から翌年度以降にわたって債務を負担する事項について、債務負担行為を追加する（全33件）。また、令和6年度に設定した債務負担行為「3件」を廃止する。

（追加）・広報やしお点字版作製委託料 外32件

（廃止）・第2期多文化共生推進プラン策定業務委託料 外2件

各会計の補正予算の規模

1 一般会計（第9号）	△ 275,342千円
2 国民健康保険特別会計（第3号）	1,936千円
3 大瀬古新田土地区画整理事業特別会計（第3号）	繰越明許費の設定
4 西袋上馬場土地区画整理事業特別会計（第3号）	歳出予算の組換え及び繰越明許費の設定
5 八潮南部東一体型特定土地区画整理事業特別会計（第3号）	繰越明許費の設定
6 介護保険特別会計（第3号）	債務負担行為の設定
7 後期高齢者医療特別会計（第3号）	△ 18,393千円

問い合わせ

<p>八潮市企画財政部財政課 電話 048-996-2111 内線306・477</p>



備蓄物資整備事業（補正予算）

八潮市
＜事業説明資料＞



生活安全部危機管理防災課 課長 神原
TEL：048-996-2111（内線240）
E-mail: k-bosai@city.yashio.lg.jp

目的

災害時におけるトイレ、キッチン、ベッド、風呂の迅速な提供など、避難所の生活環境の抜本的な改善するため、地方公共団体の先進的な取組への支援を目的に創設された「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」を活用し、災害用備蓄物資を整備する。

予算額

12,203千円（国1/2 市町村1/2）

事業概要

購入する備蓄物資	用途
水循環型シャワーキット （本体1台＋交換用フィルター）	発災時の水が不足する状況において貴重な水を有効に使うことが可能な水循環型シャワーキットを導入し、衛生環境の保持を図る。
エアドーム型テント 1台	地震によって建物が使えない状況を想定し、エアドーム型テントを導入することで、現地災害対策本部や医療救護所として活用する。
衛星携帯電話 1台	携帯電話の基地局が損傷した場合でも、衛星携帯電話を導入することで、災害対策本部と避難所・物資集積拠点等との連絡を可能とする。
簡易ベッド 110台	避難所となる学校体育館等の床に直接横になることに比べ、ベッドの設置によって寝起きが楽になるとともに、深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）の防止につながる。

